

LATP(無機銀系抗菌剤)

「LATP」は、担体として新技術により完成したリチウム系結晶化ガラスを用い、抗菌力の主体である銀イオンを担持させた無機系抗菌剤です。銀イオン保持力が高く効力持続性および耐光性にも優れた非常に効果的。本抗菌剤は安全性も高く、抗菌力も強力であり種々の加工に適しておりますので、抗菌関連用品に広くご利用いただけます。



抗菌ボール

無機銀系抗菌剤が焼き付けて有り、抗菌剤が水の腐敗の元となる細菌を完全死滅させます。また、水溶性油剤中の細菌をも死滅させます。励起した抗菌剤中の電子により、銀イオンに吸着した酸素分子が還元され活性酸素が発生し、この活性酸素が細菌の細胞に直接接触することで細菌を殺します。



特長

- Agイオンが結合しているため抗菌性が安定且つ持続
- 組成を変えることで、抗菌剤の気孔率・気孔形を任意に設定できる
- 平均粒径が小さく、表面積が大きいいため、細胞との接触効率が高い

無機銀系抗菌剤

【諸特性】

構造式	$(AgLi)_{1.4}Al_{0.4}Ti_{1.6}(PO_4)_3$
比重	3.0g/cm ³
粒径	10 μm以下
耐酸・アルカリ性	pH1
耐熱性	1200°C

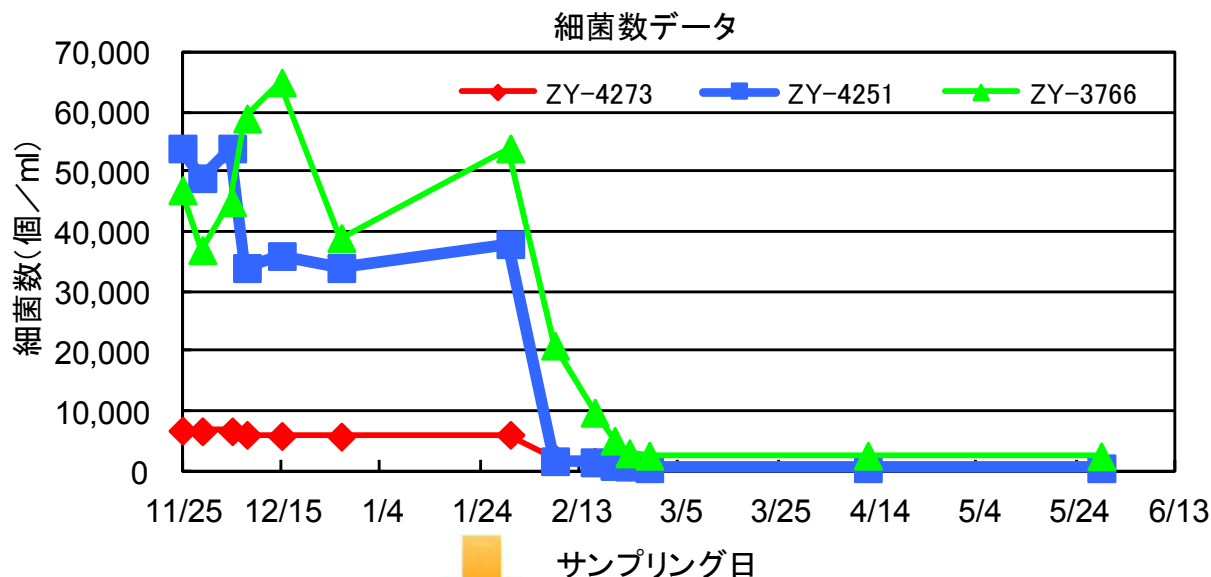
【各種菌に対する最小生育阻止濃度(MIC値)】

試験菌	MIC(ppm)	
	弊社	他社
大腸菌	62.5	125
黄色ブドウ球菌	125	250
緑膿菌	62.5	125
サルモネラ菌	125	250

他社抗菌剤に比べ、高い抗菌力を確認済

水溶液の抗菌処理例

- 金属加工用水溶性切削液の腐敗防止
(抗菌剤を固着した除菌ボールを循環切削液中に設置)



腐敗菌に対する除菌効果(1/24に抗菌フィルター設置し、菌数激減)

- レジオネラ菌繁殖抑制(温泉・冷却水などの循環設備に、除菌ボールを設置)
日本食品分析センター 第398120479-001号

表 試験液中の試験菌の生菌数測定結果(保存温度:25°C)

試験菌	区分	生菌数(／ml)				
		開始時	1時間後	3時間後	8時間後	24時間後
シュードモナス	試験液 対照	5.6×10^4	—	—	—	0 1.1×10^5
レジオネラ	試験液 対照	*** 2.1×10^6	1.2×10^5 1.3×10^6	3.6×10^2 9.1×10^5	<10 1.0×10^6	<10 3.5×10^5

対照:0.1%ペプトン水 <10:検出せず

抗菌ボールにレジオネラ・シュードモナスを接触させ、8時間後、24時間後には各菌は全数死滅しました。高い除菌性能を確認しています。

※製品の仕様は予告なく変更することがあります